

| 開講専攻  | 授業科目              | 担当教員 | 必修<br>選択<br>の別 | 単位数 |
|---|-------------------|------|----------------|-----|
| 看護学<br>-----<br>3 Semester 月・2  | 疾病論 I             | 鈴木 貴 | 必修             | 1   |
| 授業題目  | 病理学 (病気のメカニズムの理解) |      |                |     |
| <b>授業科目の目的・概要及び到達目標等</b>  |                   |      |                |     |
| <p>病気の原因、発生機序、進行過程、終末像を理解する。<br/>         そのためにはまず基本的な病理学用語の理解と記憶をする。続いて代表的な病気に関して病態 (病気のメカニズム) を理解する。</p> <p>図や写真中心の講義である。<br/>         ぜひ覚えておくべき用語、疾患名については授業中に指示する。<br/>         教科書は特に指定はしないが、参考書を 1 冊決め授業後に一読して頂きたい。</p>   |                   |      |                |     |
| <b>授業計画</b>   |                   |      |                |     |
| <p>第 1 回 細胞障害と修復<br/>         第 2 回 循環障害<br/>         第 3 回 炎症<br/>         第 4 回 免疫<br/>         第 5 回 先天異常、腫瘍<br/>         第 6 回 循環器の病理<br/>         第 7 回 呼吸器の病理<br/>         第 8 回 消化管の病理<br/>         第 9 回 消化器の病理<br/>         第 10 回 泌尿器の病理<br/>         第 11 回 生殖器の病理<br/>         第 12 回 内分泌の病理<br/>         第 13 回 神経の病理<br/>         第 14 回 造血器の病理<br/>         第 15 回 運動器の病理、膠原病の病理</p> |                   |      |                |     |
| <b>成績評価の方法及び基準</b>  |                   |      |                |     |
| <p>期末試験 (筆記試験) 重視</p>   |                   |      |                |     |
| <b>教科書・参考書</b>  |                   |      |                |     |
| <p>参考書「シンプル病理学」笹野公伸ほか著 (南江堂)<br/>         参考書「コメディカルのための専門基礎分野テキスト 病理学」神山隆一編 (中外医学社)<br/>         参考書「スタンダード病理学」大西俊造ほか著 (文光堂)</p>   |                   |      |                |     |